

# 情報科学部学習支援室 活動報告

内林 俊洋  
Toshihiro Uchibayashi

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
uchibayashi@is.kyusan-u.ac.jp, [http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~t\\_uchiba/](http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~t_uchiba/)

## 1. はじめに

平成 19 年度より、数学系科目の演習をサポートするために数学演習サポート室が開設された。平成 23 年度には、数学演習のみならず計算機基礎科目・プログラミング科目のサポートも行う情報科学部学習支援室（以下：学習支援室）として新たに開設された。本報告では、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間の学習支援室について総括を行う。

## 2. 実施日時・体制

学習支援室の開室日時や体制は、年度や学期によって異なる。また、曜日によって 2 コマから 3 コマと開室時間も異なっている。表 1 に詳細を示す。場所は 12319 実験室で行い、助手 3 名のローテーションで対応した。表 1 の時間とは別に、プログラミング科目講義後の 6 時限目にも講義と同じ教室で学習支援活動を行った。

表 1 年度別学習支援室実施日時

年度・学期	曜日	時間	実施日数
H.23 前期	水・木・金	3～5 限	39 日
H.23 後期	水・木・金	2～4 限	49 日
H.24 前期	水・木・金	2～4 限	40 日
H.24 後期	水・金	2～4 限	24 日
H.25 前期	月・水・金	3～5 限	41 日

## 3. 利用件数と利用者数

年度・学期別の学習支援室の利用件数と利用者数を表 2 に示す。平均件数は、1 日当たりの利用件数を表している。

表 2 年度・学期別集計

年度・学期	利用件数	利用者数	平均件数
H.23 前期	354 件	103 人	9.0 件
H.23 後期	252 件	63 人	5.1 件
H.24 前期	425 件	101 人	10.6 件
H.24 後期	117 件	41 人	4.8 件
H.25 前期	185 件	35 人	4.5 件

※平均件数=利用件数÷実施日数

## 4. 学習支援講義科目

主に数学系科目・計算機基礎科目・プログラミング科目について、学生からの質問への対応を行った。以下に学習支援室へ訪問のあった科目を示す。

### 【前期】

- 数学系科目
  - 離散数学 I, 離散数学 II, 線形代数 II, 微分積分 II
- 計算機基礎科目
  - 情報回路 I, 情報回路 III, 情報回路実験 II, 計算機システム
- プログラミング科目
  - ソフトウェア演習 I, ソフトウェア演習 II, データ構造とアルゴリズム I, データ構造とアルゴリズム III, オブジェクト指向設計
- その他
  - 情報理論確率論, 現代自然科学, 情報リテラシー

### 【後期】

- 数学系科目
  - 微分積分 I, グラフ理論, 数理論理学
- 計算機基礎科目

- 計算機アーキテクチャ, 情報回路実験 I, 情報回路 II
- プログラミング科目
  - プログラミング基礎, データ構造とアルゴリズム II

## 5. 学習達成度アンケート

学生が学習支援室を利用した際の達成度のアンケートを行った。学習支援室を退出時のアンケートに達成度の項目があり、「十分達成できた(3点)」、「一部達成できた(2点)」、「あまり達成できなかった(1点)」の3つから選択する。この点数を達成度として集計を行った。表3に達成度の結果を示す。すべての年度・学期で平均達成度が2点以上となっており、学習支援室を訪れることで目的が達成できたといえる。

表3 学習達成度

	有効数	平均達成度
H.23 前期	354 件	2.2 点
H.23 後期	253 件	2.4 点
H.24 前期	381 件	2.3 点
H.24 後期	55 件	2.4 点
H.25 前期	288 件	2.3 点

## 6. 記録の電子化

平成 23 年度後期までは記録用紙(付録 1)を入室時に学生に渡し、退室時に回収していた。しかし、記録用紙で記録を取ると学生が名前の記入をしない問題や、学期末に集計をする際に手作業で大量の用紙の集計をしなければならない問題があった。そこで、平成 24 年度より学生証を Felica カードリーダーにかざすことで入退室の記録を取る方式を採用した(図 1, 2, 3)。これにより名前の記入ミスはなくなったが、退室時にカードをかざさないと記録が正しく残らないという新しい問題が発生した。学生への認知が浸透すれば上記の問題は解決すると思われたが、慣習化することでカードを入室時にかざし忘れるという別の問題が発生し、平成 25 年度前期は正確なデータが集計できていない。

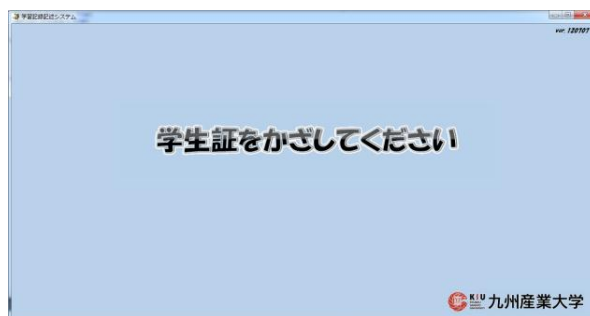


図1 カード待ち受け画面



図2 初回利用時登録画面



図3 アンケート入力画面

## 7. 学習支援室実施風景

学習支援室では、毎年7月中旬ごろの前期終了付近が最も利用者が多くなる傾向がある。最多の年で40名ほどが同時に学習支援室を訪れた。以下に学習支援室の実施風景を紹介する。



写真1 平成24年度①



写真2 平成24年度②



写真3 平成25年度①



写真4 平成25年度②

## 8. まとめ

学習支援室では、3年間でのべ340名の学生へ対応を行ってきた。特にプログラミング科目の講義や情報回路実験では、講義時間外で行わなければならない学習が多く、利用件数が多かったように思われる。また、学習支援室へ毎週訪れる学生はほとんど固定であり、学習支援室を利用しているのは情報科学部の学生全体の半分ほどだと考えられる。理由として、学習支援室を開室している教室が3階の奥にあるため、3階へ上がったことのない1年生などが利用しづらいのではないかとと思われる。学習支援室をより良いものへ変えるためには、学生への学習支援室を開室している場所や利用用途の周知と、助手だけではなく補助要員の増員が必要と考えられる。

情報科学部 学習支援室 学習記録			
1. 利用日時	2011年 月 日 ( ) : ~ :		
2. 学籍番号	3. 氏名		
4. 学習内容			
◆数学系科目			
<input type="checkbox"/> 数学基礎演習 <input type="checkbox"/> 微分積分Ⅰ <input type="checkbox"/> 微分積分Ⅱ <input type="checkbox"/> 微分方程式 <input type="checkbox"/> 線形代数Ⅰ <input type="checkbox"/> 線形代数Ⅱ <input type="checkbox"/> 離散数学Ⅰ(集合論) <input type="checkbox"/> 離散数学Ⅱ(代数学) <input type="checkbox"/> グラフ理論 <input type="checkbox"/> 数理論理学 <input type="checkbox"/> 情報理論・確率論			
◆計算機系科目			
<input type="checkbox"/> 計算機アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 計算機システム <input type="checkbox"/> 情報回路設計Ⅰ <input type="checkbox"/> 情報回路設計Ⅱ <input type="checkbox"/> 情報回路実験Ⅰ <input type="checkbox"/> 情報回路実験Ⅱ			
◆プログラミング系科目			
<input type="checkbox"/> プログラミング基礎 <input type="checkbox"/> データ構造とアルゴリズムⅠ <input type="checkbox"/> データ構造とアルゴリズムⅡ <input type="checkbox"/> データ構造とアルゴリズムⅢ <input type="checkbox"/> ソフトウェア実習Ⅰ <input type="checkbox"/> ソフトウェア実習Ⅱ <input type="checkbox"/> 現代情報科学			
□その他( )			
5. 達成度	<input type="checkbox"/> 十分達成できた。 <input type="checkbox"/> 一部達成できた。 <input type="checkbox"/> あまり達成できなかった		
情報科学部学習支援室に対する意見や感想があれば記入して下さい _____ _____ _____			
※本文の項目1~5を記入してください			

付録1 アンケート記録用紙(紙媒体)